

政策評価トピックス 第 66 号(2006 年 4 月 15 日)

・農林水産省：政策評価基本計画・実施計画

農林水産省は、平成 18 年度から 22 年度までの 5 年間とする政策評価基本計画を策定しました。基本計画では、実績評価、総合評価、公共事業・研究開発の事業評価によって評価を実施するとしています。平成 18 年度の実施計画においては、実績評価では、従来の 59 政策分野を 16 政策分野に整理し、食の安全及び消費者の信頼の確保、国産農畜産物の競争力の強化、都市との共生・対流等による農村の振興などについて、また総合評価では、「森林整備目標の進捗状況の検証」（林野庁）と「資源管理の進捗状況の検証」（水産庁）を実施するとしています。

http://www.maff.go.jp/www/press/cont2/20060329press_4b.pdf

・総務省：政策評価の点検結果

総務省は、「政策評価の点検結果－評価の実効性に向けて－」を取りまとめ、公表しました。実績評価方式による評価では、具体的な達成状況が数値化等により特定されている割合は 55%で、横ばいになっています。しかし、農林水産省と国土交通省については 100%数値化されています。事業評価方式による評価では、12 府省計 430 件が実施され、そのうち、事前評価は、12 府省計 329 件、事後評価は 6 府省計 101 件となっています。また、430 件のうち 274 件は、18 年度予算等概算要求に関する評価であったとされています。総合評価方式による評価が行われ、総務大臣に送付のあったのは、10 府省計 91 件で、そのうち、特定テーマを設定している評価は 9 府省 29 件であったとしています。農林水産省の「土地改良事業の効果（ほ場整備事業）」が参考となる調査・分析手法とされています。

http://www.soumu.go.jp/s-news/2006/060317_9_a.html

・福井県：政策合意達成状況

福井県では、平成 17 年 4 月に知事と各部局長との間で締結した 17 年度の「政策合意」の達成状況を公表しました。重点項目と個別項目を合わせた合意項目 348 のうち、新幹線の整備促進、ブランド化等の長期的に取り組むべき事項を除いた 296 項目の達成状況は、「目標を上回って達成した項目」28（10%）、「目標を達成した項目」243（82%）、目標を一部達成しなかった項目 16（5%）、「目標を達成しなかった項目」9（3%）となっています。

農林水産部では、目標を上回って達成したものとしては、「認定農業者数」、「地場産学校給食実施校」、「地域農業支援員が指導する農業者数」、「（稲）直播栽培面積」、「鳥獣による農産物被害面積」、「農家民宿に取り組む農家数」、「越前がに資源の 17 年度増加量 40 トン」となっています。反対に、目標を一部達成しなかったのは、「若狭西街道 おおい町尾内～小浜市鯉川間（2.1km）の完成、ほか 1 か所」となっています。

<http://info.pref.fukui.jp/seiki/goui/seisakutassei17.html>

・長崎県：政策評価結果の予算への反映状況

長崎県では、17 年度継続事業の途中評価結果の 18 年度当初予算等への反映状況を公表しました。1,279 件うち、廃止、拡充、改善、縮小の見直しを行うことにした事業は 310 で、評価結果を反映できたのは 263 事業（85%）、一部反映できたのは 18 事業（6%）、反映できなかったのは 29 事業（9%）になっ

ています。

農林部関係では、「廃止」と評価されたのは、「養豚振興対策事業」ですが、「拡充」と評価されたのは、「新有害鳥獣被害防止対策事業」，「土壌機能増進対策」，「中山間ふるさと活性化基金」，「分収林整備高度化事業」となっています。

<http://www.pref.nagasaki.jp/sehyo/h17/detail/reflect.html>